

令和2年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No.	14	港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援する		
所管部	産業・地域振興支援部	関係部		

2 政策がめざす方向性

日々の商業活動や地域でのイベント、清掃活動など様々な取組により地域コミュニティの拠点となる商店街の魅力を区の内外に発信し、集客につながるにぎわいの向上に向け地域ごとの特性に即した支援を行います。商店街の活性化を担う人材の育成や商店会への加入を促進し、コミュニティ活動や区民生活を支える商店会の組織力の向上を図ります。商店の経営改善の支援や店舗の情報発信を積極的に行い、個性豊かで魅力ある店舗づくりを進め、港区の特性を生かした個性ある商業集積の形成を支援します。

3 施策の取組状況（詳細別紙施策評価シート）

評価区分 A（達成）、B（概ね達成）、C（達成が不十分）

①	施策名	魅力あふれる商店街の支援	評価	A
	成果目標	区内外から商店街に人が集まり、にぎわいにあふれている		
②	施策名	商店会の組織力の向上	評価	B
	成果目標	商店街活動を担う人材が確保され、商店会の組織力が向上している		
③	施策名	個性を生かした元気な店舗づくり	評価	A
	成果目標	個性に満ちた店舗が増え、商店街全体が魅力と活気にあふれている		
④	施策名		評価	
	成果目標			
⑤	施策名		評価	
	成果目標			
⑥	施策名		評価	
	成果目標			

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度
予算額	291,124	289,985	341,798
流用・補正	34,448	779,386	—
決算額	260,457	653,286	—
執行率	80.0%	61.1%	—

予算・決算額の推移
消費税率10%への引上げに伴う低所得者、子育て世帯への影響を緩和するためのプレミアム付商品券発行事業を臨時的に実施したことから、令和元年度の予算額が大幅に増加しました。

5 政策を取り巻く社会経済状況等		
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況 ・人口動向（年少人口、生産年齢人口、老年人口） ・財政状況など	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの人々が密集する商店街でのイベントやセールの開催が困難となり、商店街における人々のふれあいや交流を深める機会が失われています。また、対面での物品販売、サービスや飲食の提供が困難な状況にあり、ネット販売やデリバリー販売など、新たな販売手法を導入する必要性が高まっています。 ・外出や移動の自粛、海外からの入国制限など人々の移動が制限され、商店街を訪れ買い物する顧客や国内外から港区を訪れる観光客が大幅に減少しています。 ・社会全体の閉塞感や個々人の不安感が増しており、地域の多くの人々がふれあい、交流を深める場である商店街は、これまで以上に地域コミュニティ機能の担い手としての重要性が増しています。 ・消費税率引上げに伴うキャッシュレス推進や新型コロナウイルス感染症防止の機運が高まっていることから、急速にキャッシュレス化が進展しています。	
区民ニーズ等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	・令和2年に実施した「第4次港区産業振興プラン策定に係る基礎調査」では、地域がにぎわうために活用できると思われるものとして、「地元商店街」との回答が最も多くなっています。 ・同基礎では、個別の意見として、近隣に、食料品や生活用品などを購入できる場所が年々減少しているといった回答が多数寄せられています。	
6 一次評価（所管部門による評価）		
政策の達成状況	施策の達成度	A:達成 2 B:概ね達成 1 C:達成が不十分 0
	・「魅力あふれる商店街の支援」では、計画していた商店街において、地域の魅力ある景観を生かした商店街路灯の整備や、Wi-Fi整備、多言語マップの作成など外国人観光客を受け入れるための環境整備を着実に進めています。 ・「商店会の組織力向上」では、港区商店街連合会とも連携しながら、商店街の魅力を広く情報発信するなど加入促進策を展開していますが、商店会加盟店舗数は、計画策定時の目標値には達していません。	
今後の政策の方向性 重点的・優先的に取り組む施策、課題等 ※国や東京都、他団体の動向、区民ニーズ等を踏まえる	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、新たな人々の生活様式や企業の就業スタイルの導入など外部環境の変化を踏まえながら、商店街店舗における販売方法の多様化に向けた取組への支援強化を図っていく必要があります。 ・商店街を訪れる買い物客や観光客などが、安全・安心して買い物やイベントを楽しむよう、感染症への感染防止に向けた取組への新たな支援策を検討し、迅速に対応していきます。	
政策の達成度	☒ A:達成 ☐ B:概ね達成 ☐ C:達成が不十分	
	・施策「魅力あふれる商店街の支援」「個性を生かした元気な店舗づくり」については、大半の活動指標が目標に達しており、成果目標を達成しています。 ・政策としても総合して成果目標を達成しているものと評価します。	
今後の政策の方向性 重点的に取り組む施策・課題	・新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンドの動向が大きく変化しているなど、商工観光政策自体のあり方が問われており、社会経済情勢や商店街のニーズ等を踏まえて方向性を検討し、さらに充実させていく必要があります。	

施策評価シート

施策① 魅力あふれる商店街の支援						A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分
施策担当課	産業振興課	関係課	観光政策担当		評価	A：達成
成果目標	区内外から商店街に人が集まり、にぎわいにあふれている					
成果目標の達成状況及び評価	各地域・各商店街で抱える課題は様々であり、区の支援も画一的なものだけでは限界があることから、「変身戦略プログラム事業」や「商店街プロモーション映像制作・発信」を進め、商店街の特色ある活動を支援・周知し、着実に各活動指標を概ね達成しています。					
今後の施策の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、新たな生活様式に合わせた商店街の取組実施に対する支援方法を検討する必要があります。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 商店街の活性化に向けた支援				産業振興課・観光政策担当		
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
変身戦略プログラム指定商店街数	7 商店街	8 商店街	1 商店街 (新規) 1 商店街 (継続)	1 商店街 (新規) 1 商店街 (継続)	1 商店街 (継続)	A：達成
達成状況	平成28年度に三田商店街が指定商店街となり、平成30年度には六本木商店街が指定商店街となっています。着実に成果を挙げている一方で、指定年度は中長期の実施計画を立てる必要があり、商店街・行政ともに人的・財政負担が大きくなることから、あらかじめ商店街の意向を把握し、事業を進めています。					
今後の方向性・課題	変化する社会情勢や商店街の実情を踏まえ、中長期の実施計画を立てた上で事業を実施できる点で本事業は優れており、今後も継続して実施していくことが必要です。					
2 商店街のにぎわい向上の支援				産業振興課		
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
にぎわい商店街事業補助金イベント数	67件/年	75件/年	64件/年	60件/年	57件/年	B：概ね達成
達成状況	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催予定であったことからイベント数が当初から減少していたことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止となったイベントもあり、目標値には届きませんでした。					
今後の方向性・課題	来年度に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が延期されたことに伴い、イベント数の減少が予想されますが、1イベント当たりの補助上限額を引き上げる（300万円から600万円）など、イベント実施時の負担軽減を図り、指標の達成に努めます。					
3 全国各地域との交流の促進				産業振興課・観光政策担当		
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
全国交流物産展出展自治体数	34自治体/年	40自治体/年	34自治体/年	37自治体/年	35自治体/年	A：達成
達成状況	目標とする自治体数は概ね達成しています。令和2年度については、会場を1会場に集約し、感染症予防対策を講じて開催する予定であるため、イベント運営上の安全性確保の観点から約20自治体の出展を予定しています。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況等、今後の社会状況を注視しながら、目標値の設定方法を見直す必要があります。					

4 商店街への外国人観光客受入強化						産業振興課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
外国人観光客受入れ環境整備件数	8 件	14件	11件 (+3 件/年)	13件 (+2 件/年)	14件 (+1 件/年)	A：達成
達成状況	外国人観光客受入れ環境の整備を図る際に、事業費の一部を補助しています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたインバウンド対策として、補助事業の積極的な周知を図ったことにより目標値を達成することができています。					
今後の方向性・課題	補助事業が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた臨時事業であったため、来年度に向けて早急に検討を進め、大会後にもインバウンド対策として実施が求められる外国人観光客受入れ環境の整備の支援を継続していく必要があると考えます。					
5 地域ごとの特性に即した商店街支援						産業振興課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
商店街プロモーション動画発信箇所数	—	50か所/年	30か所/年	40か所/年	41か所/年	A：達成
達成状況	特色ある各商店街の取組や店舗について、プロモーション映像として制作し、各地域に設置されているデジタルサイネージ等で発信することにより、消費者を地元商店街に導き、消費行動に繋げています。					
今後の方向性・課題	各商店街の取組・店舗をプロモーション映像としてまとめ、発信する一方で、各地域の課題についても把握し、各商店街のニーズに合致した支援策を検討していく必要があります。					

施策評価シート

施策② 商店会の組織力の向上					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	産業振興課		関係課		評価	B：概ね達成
成果目標	商店街活動を担う人材が確保され、商店会の組織力が向上している					
成果目標の達成状況及び評価	近年継続して課題となっている「店主の高齢化」「商店会員数の減少」「活動の担い手不足」の課題解決のため、アドバイザーの派遣支援や商店会加入のメリットをまとめた加入促進チラシの制作・配布などを実施し、商店会員数が増加するなど一定の成果を挙げています。					
今後の施策の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、廃業店舗が発生する可能性が高いことから「店主の高齢化」「商店会員数の減少」「活動の担い手不足」のほか、「商店会費の減少」が喫緊の課題となり、早急に支援方法を検討する必要があります。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 商店会の人材育成・組織力強化						産業振興課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
港区商店街連合会や各商店会が行う勉強会等の開催回数	10回/年	12回/年	10回/年	10回/年	8回/年	B：概ね達成
達成状況	商店街活動を支える人材の育成や組織力強化につながる港区商店街連合会が行う勉強会等の活動を支援しており、年間10回程度開催しているほか、商店街アドバイザー派遣支援を商店街の要望に応じて実施しています。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本年度の勉強会等の開催回数は減少が予想され、リモートでの開催などを検討する必要があります。					
2 商店会加入の促進						産業振興課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
商店会(※)に加盟している店舗数 ※港区商店街連合会に加盟している商店会	2,916店	3,100店	2,886店 (-30店/年)	2,895店 (+9店/年)	2,895店 (±0店/年)	A：達成
達成状況	新型コロナウイルス感染症の発生前は新たな商店会が設立され、減少が続いていた商店会に加盟する店舗数も増加に転じ、一定の成果を挙げていましたが、今後は新型コロナウイルス感染症の拡大により減少が見込まれます。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、廃業店舗が発生する可能性が高いことから商店会数の減少が見込まれており、早急に支援策を検討する必要があります。					

施策評価シート

施策③ 個性を生かした元気な店舗づくり					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	産業振興課	関係課		評 価	A：達成	
成果目標	個性に満ちた店舗が増え、商店街全体が魅力と活気にあふれている					
成果目標の達成状況及び評価	特色ある魅力的な店舗づくりを支援するため、小売業等店舗改装事業を実施するとともに、こうした個性ある店舗を表彰し、積極的に発信することにより、消費者を商店街に誘導し、消費活動に繋げています。すべての活動指標で目標値を達成できています。					
今後の施策の方向性・課題	個人店舗を紹介する際に、公平性を担保した上で（明確な審査基準を設けた上で）実施していくことが重要です。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 魅力的な店舗づくりの支援						産業振興課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
週1回以上商店街を利用する区民の割合 （港区産業振興プラン策定にかかる基礎調査）	44.7% （平成28年度）	50% （平成31（2019）年度）	－	45.5% （平成31年度）	45.5% （令和2年度）	A：達成
達成状況	小売業等店舗改装事業で改装予定の個店にアドバイザーを派遣し、改装計画を策定した上で、改装に要する経費の一部を補助することにより、個性豊かで魅力的な店舗づくりを支援しています。					
今後の方向性・課題	店舗改装により魅力的で特色ある店舗づくりを支援することにより、商店街全体の集客力向上も見込めることから引き続き小売業等店舗改装事業を推進します。					
2 店舗情報の積極的な発信						産業振興課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
港区商店グランプリ実施回数	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	A：達成
達成状況	社会経済状況の変化に対応しながら、意欲的に商店経営に努める区内商店街店舗を表彰する港区商店グランプリを実施しており、表彰された店舗について、冊子や映像等で積極的に発信しています。					
今後の方向性・課題	港区商店グランプリ応募店舗は毎年募集枠を超えて応募があり、引き続き事業を実施し、店舗情報の積極的な発信に努めます。					
3 空き店舗の活用促進						産業振興課
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
商店街空き店舗情報の発信回数	－	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年	A：達成
達成状況	東京都商店街振興組合連合会が開設した、東京都の空き店舗情報が掲載されている「商店街空き店舗ポータルサイト」の周知のほか、空き店舗に活用できる補助制度を紹介することにより、商店街内の空き店舗の活用促進を図っています。					
今後の方向性・課題	地域・商店街により空き店舗に関する状況は異なっており、各地域に応じた支援が必要です。					